

# FLORE21 ホットニュース

新年度スタートです。

東京の桜は入学式前には終わってしまいそうなほど早く暖かい春です。

今年度も、あちこちに行ってレポートしていきます。

引き続き「ホットニュース」をよろしくお願いします。

今週のホットニュースは、

○大田店       ますます進化！？ ガーベラ「パスタシリーズ」

○世田谷店     新品種発見！！ 「ネジバナ」とは

○葛西店       定期レポート？ 「HANA・BIYORI」アクアセルの秘密

○板橋店       日本第二位の大きさ！の墓地   さいたま市 青葉園

以上の4レポートです。それでは、どうぞご覧ください

## OFLOの部屋

暖かい春の日差しが心地良い季節となりました(\*´ω`\*)

毎年せわしない3月も終わり、ちょっと一息・・・



先週末大田店では**ガーベラのフェア**を開催させて頂きました！

しかも・・・パスタ系のガーベラだけで(◡\_◡)

そんなこんなで

**全 18 種類のパスタシリーズ**御覧下さい(=ω´)/



まずはここ最近人気の『**パスタチタノ**』

PCガーベラさんの品種で花びらの先端はグリーン〜クリームで、中心にアプリコットピンクの色味がのった春らしい

小輪パスタの品種です！

小輪パスタの品種は比較的どれも裏表の色が違う品種が多く、花びらひねり具合で他のガーベラには無い個性的な表情を見せます(◎\_◎;)

他にPCガーベラさんから小輪パスタ2品種

深い濃ピンク色の『**パスタローマ**』と、フェアのポスターにもなった『**パスタリベロ**』(-ω-)/



←画像は明るく写っていますが、結構深いワインよりの色で

大人パスタの『**パスタローマ**』です(-。-)y° ° °

他のパスティーニ系に比べると

花弁は厚みがあり、色は裏表同系色です。

『**パスタリベロ**』 →  
こちら明るく写っておりますが、もう少しアプリコットよりのサーモンピンク色で個人的にはチタノより好きかも(\*^。^\*)







パスタには珍しい中心部分が八重咲になっている  
個性派パスタ

←松下和成さんの品種で

『パスタエキゾチック』(≧◇≦)

パッと見パスタ系には見えない品種ですが・・・  
ベージュピンク地に八重咲部分が濃ピンク色  
色も咲き方も何ともエキゾチックです(^\_-)☆  
個性的で風変りなガーベラがお好きな方は是非！！



松下さんからはもう一品種

今では珍しくなった赤いパスタの

『パスタディアボラ』

←市場でほとんど見かけなくなった赤いパスタで  
すが大輪だとこの『パスタディアボラ』が現在唯  
一のパスタシリーズの赤でございます(◎\_◎)

ちなみに今回画像はございませんが、小輪パスタ系だと『パスタパルマ』という品種  
がございます。

こちらもかなりの希少品種でして・・・市場で見かけたら  
幸運かもしれません(°ω°)

この2品種は欠かせません(ゝ\_ゝ)

まだまだ根強い人気の元祖『パスタ』と『パスタロサート』



←今さら説明しなくても・・・と思  
いましたが念のため(ゝ\_ゝ)

左が『パスタ』で

右が『パスタロサート』

もう兄弟みたいなもんですね(\*^。  
^\*)

ちなみに右の『パスタロサート』はここ最近色々な染めガーベラになって市場にひょっこり現れます(\*'ω'\*)



その一品種

『パスタロサートオレンジ』です(°▽°)

ベースになる『パスタロサート』が色ののり具合だったり絶妙な色のグラデーションをだすのでたまに予想外に当たりがあったりします(°▽°)

単色で市場へ入ってくるのはこのオレンジだけでそのため他の色はご注文をお受けすることができません。ミックス箱で色々入ってくるので当日市場へ来て頂ければ好みの色が見つかるかもしれません(°ω°)

大田店の店頭では定番のようにっておりますパスタシリーズのご紹介です(\*^。^\*)  
まずは小輪パスタ系の6品種一気にご紹介します('ω')



左から

『パスタアロナ』

『パスタペサロ』

『パスタアンドリア』



左から

『パスタエミリア』

『パスタニコシア』

『パスタコルヴァーラ』



続いてパスタ系4品種も一気にご紹介します(-ω-)/



『パスタファモーザ』



『パスタカルボナーラ』



『パスタレモネード』



『パスタプリマヴェーラ』

全 10 種類湘南マツキガーベラさんのパスタシリーズでした！

最後は駆け足で名前だけになってしまいましたが、紹介しきれっていない品種と合わせて、次の機会にまた改めてご紹介させていただきます m(\_)\_m

大田店 高木

**世田谷店おすすめ**

ヤフーのニュース、3/23(木)の日付で、こんな記事が掲載されていました。



## 『「日本の研究チーム、ラン科植物ネジバナの新種発見」』

【AFP＝時事】日本の研究チームがこのほど、繊細なガラス細工のような花が咲くラン科植物「ネジバナ」の新種を発見した。

研究論文が17日、「ジャーナル・オブ・プラネット・リサーチ (Journal of Planet Research)」に掲載された。

新種の和名は、最も多く見つかった八丈島の名を冠し、「ハチジョウネジバナ」と命名された。

その存在を突き止めるのに 10 年近くかかったという。神戸大学の末次健司教授は 23 日、AFP の取材に応じ、公園や庭、ベランダの鉢など日常触れる環境に見られるネジバナが新種だったのは驚きだったと語った。

末次教授によると、標本の中には植木鉢や庭から採取された個体も含まれている。岐阜県の高校から提供されたものもある。

同大は発表で、「その面白い見た目とガラス細工のような可憐な花から、古くから人々に愛されてきました」と説明している。

ネジバナは花がらせん状にねじれてつくことから名付けられ、万葉集にも詠まれている。

【末次健司氏提供(2018年5月7日撮影、2023年3月23日入手)】

この植物、なんだか見たことあるような気がしたので調べてみました。

「ネジバナ」とは「ネジバナ（捩花、学名：Spiranthes sinensis var. amoena）は、ラン科ネジバナ属の小型の多年草。

別名がモジズリ（緞摺）。湿っていて日当たりの良い、背の低い草地に良く生育する。花色は通常桃色で、小さな花を多数細長い花茎に密着させるようにつけるが、その花が花茎の周りに螺旋状に並んで咲く「ねじれた花序」が和名の由来である。

「ネジレバナ」、「ネジリバナ」、「ねじり草（そう）」とも呼ばれる事もある。開花時期は 4-9 月。ごく稀に真っ白い花をつける個体（シロネジバナ、シロバナモジズリ）が見られ、園芸愛好家に好まれる。」

（Wikipedia より抜粋）





左が通常の「ネジバナ」。右が「シロバナモジズリ」です。

ラン科の植物ですが、わりと生活圏でも見ることができる植物です。街中や芝生に紛れて生えたりするので、雑草扱いされたりしますが、花がきれいなため、山野草として売られたりもしています。

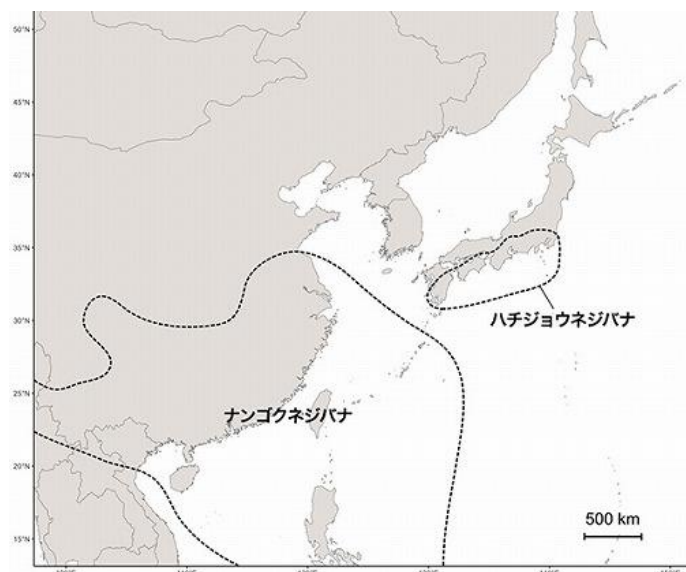
ただ、園芸種としては、個体寿命が短く、また根が菌類と共生しているため、植え替えると急に枯れたり不安定な植物のため、同じ株で長く育てることが難しいのだそうです。

さて、この発見がされる前、日本のネジバナはどんな分布で考えられていたかという

1. 琉球列島以南に分布し3月ごろに咲くナンゴクネジバナ。

2. 九州以北のネジバナは6月以降に咲く「ネジバナ」一種のみ。

となっていました。



末次教授のチームが調査したところ、通常の「ネジバナ」と比べて開花がひと月以上早く、花茎などに毛をもっていないものが見つかり、新種が発見されたのだそうです。

きっかけになった、全国（九州から北関東）のサンプルが、普通の家庭用のプランターや、高校の植木鉢から生えてきたネジバナだったというのは、ちょっと面白いですね。

また DNA 解析などで、「ネジバナ」と「ハチジョウネジバナ」は近縁種ではなく、むしろ生育圏が別の「ナンゴクネジバナ」と「ハチジョウネジバナ」が近縁だと分かったそうです。

また「ネジバナ」は自家受粉できませんが、「ハチジョウネジバナ」（と「ナンゴクネジバナ」）は自家受粉する種のため、「ナンゴク」と「ハチジョウ」が本土内で隣り合って自生していても交じり合うことはないのだそうです。



「ネジバナは、日本で最も身近にみられるラン科植物として古くから愛されてきました。ありふれた「ネジバナ」が2種に分かれるという事実は、私たちが日常的に触れる自然の中にもまだ未知の世界があることを再認識させてくれる成果だと思えます」

（神戸大学理学部教授 末次健司教授のTwitterより引用）

なお、神戸大学の研究ニュースサイト「Research at Kobe」から「庭やベランダから新種!? 最も身近にみられるラン科植物「ネジバナ」の新種を発見」という詳細な記事が掲載されています。興味のある方はご覧になってみてください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/index.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/index.html))

最後に万葉集で読まれたというネジバナの句を紹介して締めとさせていただきます。

芝付(しばつき)の 御宇良崎(みうらさき)なる 根都古(ねつこ)草(ぐさ)  
逢ひ見ずあらば 吾(あれ)恋ひぬやも

意味：

芝付の御宇良崎（みうらさき）にあるねつこ草（ネジバナ）ではないが、共寝したあなたに逢っていないならば、これほど恋しく思うだろうか

万葉集 第14巻 3508 東歌 相聞

世田谷店 前田



# 仕入れの素☆葛西店



“一年の中で一番きれいな一週間ですよ”という誘い文句に乗って三月の最終週の火曜日に よみうりランドに隣接するフラワーパーク『HANA・BIYORI』を訪れました。

このホットニュースに何度か登場しているのでご存知の方も多いと思いますが、私は今回が初めての訪問となります。

行く前までは、「桜をいいタイミングで見られてラッキー」くらいの軽い気持ちでいたのですが、中に入って見て話しを聞く内に、ここは凄いことをやっている。

驚きの連続というか、私たちの常識が間違っていたのか？と思わせられる貴重な話が聞けました。

今回、私を案内してくれたのは、HANA・BIYORIのトップデザイナーの松原さんです。実は彼女とは以前に一緒に会社で働いていた経緯があり、快く案内役を引き受けてくれました。感謝です。



さて、入口を入ってすぐに春の花達が迎えてくれています。



実はここに見える花すべて  
植え込まれていないのです。

3.5寸のポットのまま置いてある  
だけなのです。

なのに花がちゃんと咲いている  
のです。

もちろん葉も変色したりしていないのです。

これには秘密があり、ポット苗の下には【アクアセル】という底面吸水材が敷かれています。このアクアセルは特殊ウレタンスポンジで一般のウレタンに比べて6倍の保水力があり、適度な水分を植物に供給する事を可能にしています。



写真はビオラのポット苗の下から  
根が伸びて、しっかりとアクアセル  
に根を張っています。

なぜ土に植えずにウレタンのスポンジの上で元気な根を張れるのかは、正確に説明できる自信がないので致しませんが、松原さん曰く、「根がアクアセルに入った瞬間に植物

が元気になるのが判る」そうで、現実に花達は元気に長持ちしています。

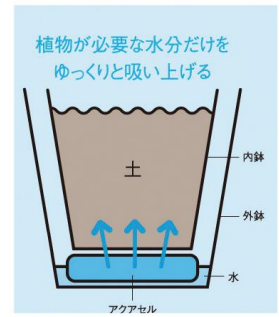
製造元の会社の商品カタログには水やりが楽になり、飛躍的に植物を長持ちさせることができる。と謳っています。

右のストックは10月に設置したもので、まだ花が残っていることが不思議だと思いませんか？  
ポットのままですよ。

フローレ21でも取り扱っていますので、興味がある方は是非お問合せください。







FLORE21 はアクアセル®の正規販売代理店です



さて、メインの温室の方も案内してもらいました。豪華で、巨大なフラワーシャンデリアが圧巻の光景です。画像でも十分にこの凄さは判ると思いますが、実物は綺麗で迫力があります。是非一度は見て体験して頂きたい。





非日常的空間に身を置く感覚を味わう  
そんな体験ができる場所だと思います。



HANA・BIYORI のシンボルツリーのの一つ  
『パラボラッチョ』です。

プラントハンターの西畠清順さんがパラ  
グアイから持ってきたものだとか、そう云  
えばテレビでこの木を見たことがあるよ  
うな気がします。

写真ではわかりませんが、樹皮は棘だらけです。松原さんはこの木の管理を任せられた時は大変だったと言っていました。苦勞の甲斐があって今こうして新たな葉を茂らせています。

この木は一度みたら忘れないですよ。最高のインパクトを与えてくれます。



こちらは、われらが「武農園」から持って  
きたシダ系観葉植物です。  
やはりアクアセルに包む形で定植したもの。  
元気に育っています。

このスターバックスの文字  
の部分の植物にもアクア  
セルを使っています。

使うようになってからは格  
段に日持ちが良くなったと  
も。







もう一つ紹介させてください。これはコーヒーの木ですが、なんと実が生っているのです。

鉢底にアクアセルを敷いています。  
それ以外は特別なことはしていないそうです。

新しい花芽も確認できました。実が生っているコーヒーの木は初めて見ました。  
東京でコーヒーの木に実が生る・・・  
不思議です。驚きを禁じえません。



温室の奥のガーデンエリア

キンギョソウの根がアクアセルに根を張っている様子です。

ピンク色の花の蕾が膨らんできているのが見えますでしょうか！





松原さんです。  
今日は大変勉強になりました。  
ありがとうございました。

もっと紹介したいエピソードを聞かせてもらったけど今日はここまでにしておきます。

エキウム・ウィルドプレッティが咲いたら教えてくださいね！  
見に行きたいです。

葛西店 柏木

## 【驚き！！】の提案 板橋店

お彼岸と年度末、おつかれさまでした！板橋店の小池真紀子です。

お彼岸といえばお墓参りということで、今回は板橋店の河本さんと一緒にさいたま市西区にある**青葉園さん**に行ってきました。

こちらは**日本第二位の大きさ（東京ドーム3個相当）を誇る墓地**です。  
埼玉県の大宮駅からバスで20分ほどにあります。



青葉園さんにうかがったのは久しぶりに晴れた3月29日で造園の責任者の玉井さんにご案内いただきました。

去年の夏にヒマワリを園内に植えたいということで青葉園さんとのご縁がはじまり、その後、秋にはコスモス、年末には花モチ、年が明け2月に芝桜、桃等の鉢、苗などをご注文していただいています。

その花々を実際見られることができ嬉しかったです。



正門を入るとすぐに樹齢 700 年の藤棚がありこれを楽しみに来園される方も多いそうです。あと 1 週間もすれば花が咲き始めるとのことです。私自身、藤の蕾の状態を見るのは初めてでしたが、今にも咲きそうなものがありわくわくしました。



また 3 重の塔が墓地の中心にあります。こちらは 3 重では日本一の高さを誇っているそうです。外観の塗装が終わったばかりで鮮やかな朱色が園内に彩を添えています。この塔の周りに芝桜が白、ピンク、紫ときれいに咲いていました。

今は風車装飾を塔のたもとで行っていました。







別の場所では様々なアジサイを見られるアジサイコーナーがありました。

ヤマアジサイは適度な日陰を好むようで、直射日光を受けたヤマアジサイはダメになってしまったそうです。

今年はアジサイの数を増やしたいとのお話しされていました。

お彼岸の際には3つの駐車場（南、西、北）入口で仏花を販売し、駐車場は満車になるそうです。大宮駅からの直行バスも出るそうで、園内では出店もありお墓参りを少しでも多くの方に楽しんでもらえるように取り組んでらっしゃっています。

社員7名、パート方7名で墓地の管理をしており、新たな植栽の提案、清掃、工事などを担当しています。1時間ほど玉井さんの話を伺い、青葉園への愛情、また季節とりどりの木々、花が咲いている様子を多くの方に見てほしいという気持ちが伝わってきました。年に1度しかお参りしなかった方にもっとお参りにきていただけたらという思いで、フォトコンテストや季節ごとのイベントを予定しています。

今後は5月にあやめを装飾し端午の節句を祝いたいそうです。

板橋店 小池真紀子

☆☆

株式会社 **FLORE21** <https://www.flore21.com>



<http://www.facebook.com/flore21com>

<https://www.facebook.com/flore21jp/>



世田谷店	Tel 03-5494-8700	Fax 03-5494-8701
大田店	Tel 03-5492-4124	Fax 03-5492-4127
葛西店	Tel 03-5659-8750	Fax 03-5659-8751
板橋店	Tel 03-6904-1813	Fax 03-6904-1814

☆☆